



来週の投資戦略（11/17-21）

警戒して始まるが、持ち直せるか？

2025 年 11 月 16 日

小松 徹

注目事項 — 見所

米国決算発表 — エヌビディア (AI 半導体最大手) とウォルマート (小売り最大手)。
 11 月 17 日、7-9 月期実質 GDP 成長率 — 前期比マイナス 0.6%？
 11 月 18 日、10 月の外国人客数 — 中国人増も全体の伸び鈍化？
 11 月 19 日、米連邦公開市場委員会 (FOMC) 前回議事要旨 — 意見割れの程度は？
 11 月 20 日、9 月の米雇用統計 — 非農業部門雇用者数は増？減？
 11 月 21 日、10 月の全国消費者物価指数 — 前年比+3.0%。コアコア+3.1%？

株式市場見通し

先週で上半期の企業決算がほぼ出そろった（損保 3 社が水曜日に発表予定）。純利益が前年比 7%増と集計されているが、ソフトバンクグループ (9984、以下 SBG) を除くとやや減少した。トランプ関税の影響で自動車や鉄鋼などが大幅減益になったが、内需は堅調だった。プライム上場企業は年間の純利益を前年比 2%減と予想している（ただし、SBG の扱いは不明）。トランプ関税が最悪期を過ぎたことは明るい話だ。ところが、今度は中国が高市政権に仕掛けてきた。国会での台湾危機答弁を巡って、中国がわが国への渡航を当面控えるよう注意した。来週は 7-9 月期の弱い実質 GDP 成長率とこれを受けた展開で始まり、米国エヌビディアとウォルマートの決算に反応し、週末には 9 月の米国雇用統計発表で市場が動く可能性もあろう。

米国時間午後 4 時に米エヌビディアが決算発表する。アナリストの 8-10 月期一株当たり利益 (EPS) 予想は前年同期比+54%（最大は+65%）、11-1 月期予想は+56%（最大は 2.2 倍）。実績が 50%近く増益となるだけでなく、今四半期はもっと高い成長が期待されている。利益までのガイダンスはないのでアナリストの増収率予想+56%（最大+91%）に近いガイダンスが出るか。日本時間木曜日午前 6 時の発表とそれ以降の説明会が注目される。トランプ政権が対中半導体規制を事実上断念したので、中国への売り上げがどの程度伸びるかも注目されよう。米国時間木曜日にウォルマートが 8-10 月期決算を発表する。微増益が予想されており、11-1 月期もアナリストは微増益予想。

ところで、11 月第 1 週について海外投資家が現物市場で 35 百億円売り越した（先物も 22 百億円売り越し）。この週は日経 225 が 4.0%と強烈に下げた週だ。前場の大幅下落を後場にかなり戻すパターンが続いたが、来週は難しいかもしれない。ただし、TOPIX はメガバンクの好決算と一部自社株買いを受けて堅調推移すると予想される。

最後に、米国で注目材料をふたつ。水曜日に FOMC の前回議事要旨が発表される。理事の意見が大きく違くとパウエル連邦準備理事会 (FRB) 議長が述べた。どの程度の違いだったのか、次回 FOMC を占ううえで重要だ。木曜日に 9 月の米雇用統計が発表される。失業率は発表されないが、非農業部門雇用者数は公表される。現時点ではエコノミストの予想は入手できない。どの程度の増か？減となれば、市場は混乱しよう。

KPA の投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、今期増益株	高 PB 低位株、高 PE 新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



日経225



TOPIX



米ドル・円相場



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。

©2000－2025 Komatsu Portfolio Advisors Co., Ltd. All rights reserved.